

当院にて門脈圧亢進症に対してご加療された又はされている方へ

当院では「門脈圧亢進症に対する治療と予後に関する研究」を実施しております。この研究は金沢大学附属病院消化器内科が中心となって、門脈圧亢進症の患者さんの新しい治療法を開発するために行われる研究です。

【対象となる方】2002年1月から2016年3月までに当院で門脈圧亢進症（食道胃静脈瘤、腹水、門脈血栓など）と診断され、内視鏡治療、カテーテル治療、外科的治療、薬物治療などによる治療を受けた方

【研究の意義】門脈圧亢進症に対する有効な治療法の開発が可能となります

【研究の目的】門脈圧亢進症患者さんに実施される各種治療の成績を明らかにします

【研究の方法】この研究は、文部科学省及び厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、金沢大学医学倫理審査委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【予想される利益と不利益】この研究の成果として、門脈圧亢進症に対する有効な治療法が開発が可能となる可能性があります。研究結果は、個人が特定出来ない形式で国内外の学会や医学論文に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと保存されますが、予期できない理由により個人情報漏洩する危険性があります。この研究で使用するデータは、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。なお、この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

【研究への参加の自由と同意撤回の自由】この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、2016年11月30日までに下記の研究事務局まで御連絡ください。この研究への参加はあくまでも自由意思によるものであり、不参加を申し出ても今後の治療などにおいて一切不利益を被ることはありません。ただし、不参加を申し出た時点ですでに研究の解析が終了している場合は、情報を破棄できない場合もありますのでご了承ください。なお、ご連絡をいただかなかった場合、ご了承ください。ご了承いただいたものとさせていただきます。

【その他】研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成28年10月

【研究機関名】 金沢大学附属病院 消化器内科 1

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

住所：石川県金沢市宝町13-1

電話：076-265-2235 FAX：076-234-4250

医療機関名 金沢大学附属病院

診療科名 消化器内科

担当者名

鷹取 元